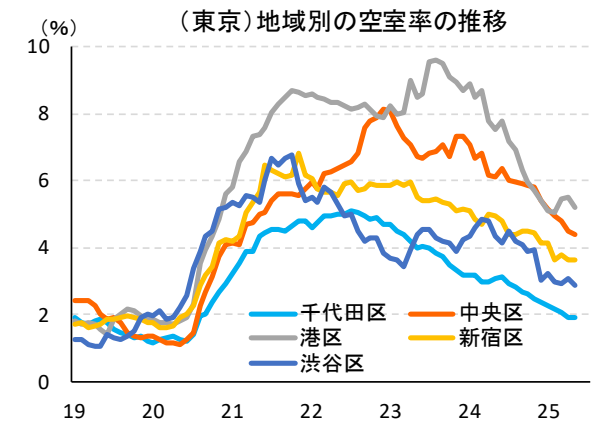
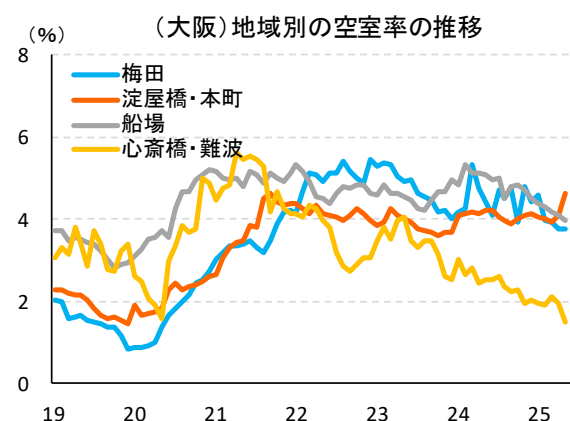
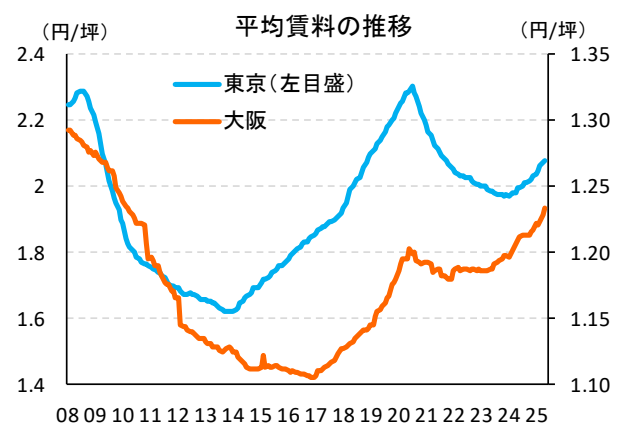
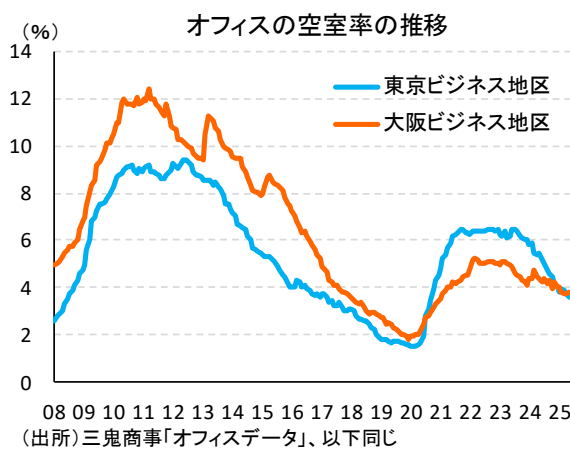


関西の景気トピックス【オフィス空室率（25 年 5 月）】

- 25 年 5 月のオフィス空室率（三鬼商事による公表）をもとに、東京、大阪のオフィス市況をみると、両地域ともに空室率は低下傾向で、平均賃料には上昇傾向がみられるなど、改善の動きが進んでいる。
- 東京と大阪を比較すると、直近は東京の空室率の改善が目立ち、ほぼ大阪と並ぶ水準にまで低下したが、平均賃料の改善は大阪が先行している。大阪の空室率の改善が遅い印象ももたれるが、これは主に新規供給の増加によるもので、市況自体は堅調な推移となっている。
- 大阪、東京の地区別の空室率の動きをみると、大阪については、心斎橋・難波の低下傾向が目立つ中、梅田や船場にも緩やかな低下の動きがみられる。特に梅田については、新規オフィスの開業が相次ぐ中で空室率の低下が進むなど、好調な動きが続いている。一方、東京の地区別の状況は、千代田区を中心にとのエリアも概ね低下傾向にあるものの、港区はまだ 5%を上回るなど、比較的高い水準が続いている。



本件照会先: 大阪本社 荒木秀之
TEL:06(4705)3635 mail:hd-araki@rri.co.jp